(2019.4改正)

**＜別紙１＞**

**第三者評価結果報告書**

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| 株式会社フィールズ |

②施設・事業所情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称：キディ大倉山・横浜 | | 種別：認可保育所 | |
| 代表者氏名：林ゆう太 | | 定員（利用人数）：60名（53名）　　　名 | |
| 所在地：〒222-0032　神奈川県横浜市港北区大豆戸町35-1 | | | |
| TEL：045-717-7122 | | | |
| ホームページhttps://www.shinkoufukushikai.com/hoiku/ninka/kiddy-okurayama | | | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | |
| 開設年月日：2019年4月1日 | | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人　伸こう福祉会 | | | |
| 職員数 | 常勤職員：15名 | | 非常勤職員：1名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）　　　　　名 | |  |
| 保育士:15名 | | 看護師：1名 |
|  | |  |
| 施設・設備の概要 | （居室数）保育室：6 | | |
| （設備等）トイレ：4、調理室：1、事務室：１、園庭：有（屋上） | | |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| 保育理念  子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園  保育方針  ・一人ひとりの子ども達が心身ともに健康で安全に成長できるように、健やかな育ちを支えます。  ・保護者とのよい協力関係を築きながら、子Dもの育ちや子育てを支えます。  ・地域の方々や関係機関と協力し、地域の子育てを応援します。  保育目標  ・子どもたちの「なぜ」「どうして」を大切にする。  ・直接体験を通して感情を豊かに表現する。  ・友達や先生と関わることの楽しさや大切さを知る。  ・主体的な関わり、活動から自己肯定感を育み、自分を好きになる。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| 保育目標を達成するために、開園から「子ども主体」「個別保育」を実践できるように職員への方針説明や会議での確認を行っています。  活動に対しては強制的に参加させるのではなく、やりたくない気持ちなどを受けとめたり、一斉に活動する機会をなるべく減らし、個別に援助ができるように努めています。  「怒らず・叱らず・伝える。大声を出さない」ことを徹底し、子どもの気持ちをまずは受容する関わりを大切にしています。  行事においては、子どもや職員の極端な負担にならないように、普段の活動の様子の延長で取り組める内容を設定しています。 |

⑤第三者評価の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 | 令和3年10月20日（契約日）　～  令和4年3月23日　（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | ―　回（　　　―年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| ◇特に評価の高い点  1)すべての子どもを大切にし、気持ちに寄り添い、尊重する保育  園の保育理念である子ども一人ひとりを大切に、子どもの気持ちに寄り添った保育を心がけ、実践しています。活動や遊びの中で、常に子どもの気持ちを受け止めるために職員同士が連携し、子ども一人ひとりに丁寧に向き合っています。キディの保育援助として「個性を認める」「可能性を伸ばす」「個別に接する」「愛を注ぐ」の4項目を挙げ職員は共通認識のもと日々子どもたちと関わっています。子どもが自分のやりたいことを自分で決められることを大切にし、職員は一人ひとりの子どもが成長していくためにふさわしい関わりや対応で保育を進めています。また、子どもたちが、相手を尊重する心を育むために、言われてうれしい言葉を「ふわふわことば」、言われて嫌な気持ちになる言葉を「ちくちくことば」と表し、子どもたちにも考えてもらう取り組みを行い「一人ひとりの個性」を尊重することを大事にしています。  ２)環境を生かした保育  園舎は木材を豊富に使用した温かみを感じる造りとなっています。保育室内にも木製の質の良い家具やおもちゃを用意し、子どもの発達に合わせておもちゃを入れ替え、遊びが広がるようにコーナーづくりを行っています。0歳児クラスには、お座りやハイハイをする子どもの目線の位置にも窓があります。2歳児クラス以上の保育室は2階にあります。建物の中央にある階段を中心に回廊風の保育スペースが作られ、他のクラスの様子を感じとることができ、3～5歳児クラスは常に行き来ができるような空間になっています。環境を生かしながら、年齢により集団を意識した活動を取り入れ、友だち関係や仲間意識を育めるように、また、友だちと協力して自分たちで活動できるように職員は配慮して支援しています。  ◇改善を求められる点  1)ボトムアップの取組  園は開設3年目で、体制作りのため園長のリーダーシップを前面に出して運営を進めてきました。さらなる保育の質の向上のために、今後は全職員で話し合いながら保育を進めて行こうとしています。環境整備に向けて、職員でヒヤリハットを検討するなど職員からの提案による取組が望まれます。  ２)園の強みや特徴を工夫して発信  園がある東急東横線大倉山駅周辺は子育て世代が多く、保育所も多い地域です。法人と連携を図りながら、選ばれる保育園づくりのために、園の強みや特徴を積極的に発信していくことを検討しています。2019年の開園からほどなくコロナ禍になったこともあり、進んでいない地域向けの育児支援事業を含め、今後の具体的な取組が期待されます。 |

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

|  |
| --- |
| 2019年4月から開園し、2021年度に園として初の第三者評価を受審致しました。  保護者の皆様においても大変お忙しい中、アンケート等にご協力頂き、ありがと  うございました。  保育者自身の保育を振り返る良いきっかけとなり、課題や改善点等が再認識でき  た事や園として「評価できる点」や強みを確認することができました。今後の園  運営に活かしていきたいと思います。  この評価結果を活かして、これからも子どもたちの興味関心のもと、子どもたち  が主体的に活動できる保育園を目指して取り組んでいきたいと思います。 |

⑧第三者評価結果

　　別紙２のとおり